



●年頭のご挨拶



利用者の皆さんご家族の皆さん明けましておめでとうございます。とは申しまして時の経つのは早いもので一月が終わろうとしています。遅ればせながら、皆様のご多幸をお祈りいたします。

さて、今年は何と言ってもオリンピックの年です。歴史に残るイベントを生きている間に二回体験できることは幸運ですし、どんな開会式・メダルの数はと楽しみと期待は尽きません。

一方、昨年を振り返ってみますと、温暖化の影響が自然災害が毎年のようにやってくるようになりました。また少子高齢化により労働力不足が全ての業界で深刻となってきました。とりわけ介護業界では慢性的人材不足が課題ですが、当事業所では職員の処遇改善と働きたい方の希望に応じた時間勤務など地域で支える介護体制、又ITの活用や介護支援ロボットの試みに取り組み、利用者そしてご家族の皆さんに信頼される施設づくりに、従業員ワンチームで頑張りますのでご支援ご協力を宜しくお願い致します。

●行事の様子

《長井保育所との交流》

十二月五日



日に長井保育所の園児の訪問があり、楽しい時間を過ごす事ができました。特に「笠じょう」では、踊りや唄やセリフをしっかり覚えていて、物語がとても感動的でした。先生方の話では、披露回数を重ねるごとに、堂々と上手になっていくとの事でした。又来年も楽しみで



《くまた保育園との交流》

くまた保育園より訪問がありました。

一組ひと組衣装が違い、ドレスから鉄腕アトムまで色々な踊りで、利用者さんは「かわいい、かわいい」の連発となりました。園児の皆さんから肩たたきまで



てもらい又々感激でした。



《クリスマス》

十二月二十五日 午前中は「寿舞会」の方々の踊りで始まりました。学校が冬休みに入り、小中学生の方達も参加して下さいました。学業の合間に練習を重ねピシッと決まった踊りとなりました。

他の方々も、全て着物で踊って下さいました。その後、昼食はバイキング、午後はサンタさんよりプレゼントを頂きました。プレゼントは少々現実的なタオルや座布団でしたが、皆さん大変喜んでいただきました。



《研修会》

十二月十七日 職員全体会は全員参加で、きたがわ荘産業医である日高孝紀院長に講話をして頂きました。「人の死亡率は百分〇あなた、家族の未来は：五大疾病等から考える」と題して、表題のごとく人間いつ死ぬかはわからないから生き方を考える。死亡年齢は!! 死亡原因は何がいいか等を考えさせられました。その後、五大疾病の症状等の話を聞き、早期発見・健診が必要であり、二次健診も放置せず、受診しましょうという先生のお話でした。



《餅つき》

年末恒例の餅つきを行いました。

皆さんビニール手袋をして、丸めていただきますでしたが、さすが「昔取った杵柄」。皆さんきれいに丸めてくださいました。餅にはあんが入っていたので、美味しくいただく事ができ、二個も食べた方もおられました。



《お神酒》

元旦の朝、利用者の皆さん一人ひとりと、施設長・職員がおとそをいただきます。今年は、干支の最初の「子の年」。何かいい事がありそうです。

施設でも、百四歳になられる方を最高に百二歳が四人、百歳が一人と続いています。皆さんお元気ですので、家族の方も職員も応援しています。



《インフルエンザ予防について》

今の季節はほとんどの施設でインフルエンザ予防の為に、面会制限が行われているようです。

きたがわ荘でも一月十一日より罹患した方はいませんが、面会制限となりました。予防法としては、手洗いはもちろんお茶を少しずつ飲むとか、ドアノブは直接触らず、肘で開けるとかエタノールで手指消毒すると菌が死滅するとの事です。それと、やはり食事を摂って体力をつける事もできません。これから三月末までは、緊張の日々が続きます。家族の皆様には、ご迷惑をおかけしますが宜しくおねがいします。



様 担当 より

